

科目名	オートクチュール技術Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	270	作成者	大西 智子

【科目の到達目標】

オートクチュールの意味を理解し、基本的な縫製技術から高度な縫製技術までを修得し、美しいシルエット作りや体型、素材に応じたパターン作成、縫製が出来る人材の育成

【科目の概要】

それぞれの体型に合った服作りの根源を見直し、基本的な縫製技術を踏まえた上で、高級な素材での高度な裁断、縫製技術を修得し、各個人の身体に合った美しいシルエットに仕上げる為の平面パターン及びドレーピング技術にて立体的なシルエット作り、的確なパターン作成を修得する

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
A (2コマ/W×15) テーラードスーツ		A (2コマ/W×15) テーラードスーツ	
1～8	テーラードスーツ 寒冷紗本身仮縫い、後の補正・パターン作成、布印しつけ	61～68	テーラードスーツ 見返し釦ホール、ポケット作り、ポケットつけ、袖作り
9～16	テーラードスーツ オーガンテープ、芯すえ、くせ取り、衿づくり、組み立て	69～76	テーラードスーツ ベルト、ファスナー付け、裾始末、再仮縫い
17～22	テーラードスーツ 本布仮縫い、後の補正、ダーツ 脇線 地縫い、始末	77～86	テーラードスーツ 裏地縫い合わせ、袖地縫い、衿つけ、肩パッドつけ
23～30	テーラードスーツ 衿、芯、テープ、胸、肩増し芯、裏地裁断、地縫い、虫どめ	87～90	テーラードスーツ 裏地地縫い合わせ、提出
B(2コマ/W×15) ケミカルレースのボレロ サッシュベルト		B(3コマ/W×15) ベルベットワンピース	
31～32	ケミカルレースのボレロ ドレーピング、寒冷紗両身組み立て	91～93	ベルベットワンピース ドレーピング、寒冷紗両身組み立て
33～34	ケミカルレースのボレロ 寒冷紗仮縫い	94～96	ベルベットワンピース 寒冷紗仮縫い
35～36	ケミカルレースのボレロ 本生地裁断	97～99	ベルベットワンピース 寒冷紗仮縫い、本生地裁断
37～38	ケミカルレースのボレロ 本生地仮縫い準備	100～108	ベルベットワンピース 本生地仮縫い準備
39～40	ケミカルレースのボレロ 本生地仮縫い	109～114	ベルベットワンピース 本生地仮縫い、仕立て
41～50	ケミカルレースのボレロ 仕立て	115～132	ベルベットワンピース 本布仮縫い、後補正、見返し、裏地裁断
51～53	ケミカルレースのボレロ 袖再仮縫い、仕立て	133～135	ベルベットワンピース 提出
54～55	ケミカルレースのボレロ 仕上げ		
56～60	サッシュベルト サッシュベルト縫製、仕上げ		

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』服飾手帖社 改訂版 上田安子『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版
教員作成オリジナルプリント『オートクチュール技術』 プリント配布

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式 筆記用具
実物作品、部分縫い見本

科目名	RTW技術	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 10 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	江田 泉

【科目の到達目標】

既製服(Ready to wear)のデザイン・パターン・カッティング・縫製の一貫した知識と技術を修得する。

【科目の概要】

ファッション産業において生産拠点は海外に移行している時代ではあるが、オリジナルデザインの製作技術の伝承は不可欠である。本授業では色々な種類の素材の縫製方法を学び、素材に応じた工業パターンへの展開、縫製工程、縫製仕様の理解を深める。各自の創作性を生かした作品を製作発表する

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
	プレタポルテ展示会作品 1・2 製図・トワール組み 3・4 トワール組みチェック・パターン修正 5・6 審査後の補正・裁断 7・8 裁断・実物組み立て 9・10 縫製 11・12 縫製 13・14 縫製・仕上げ レース使いのランジェリー 15・16 パターントレース・裁断・縫製 17・18 縫製・仕上げ・提出 パフスリーブの部分縫い 19・20 パターン作成・裁断・縫製 21・22 縫製 23・24 まとめ・発表・提出 子供服ドレス 25・26 裁断・縫製仕様書指示書作成・縫製 27・28 縫製 29・30 まとめ・発表・提出	上田学園コレクション作品 31・32 製図・トワール組み立て 33・34 トワール組みチェック・パターン修正 35・36 製図・トワール組み立て 37・38 トワール組みチェック・パターン修正 39・40 修正・裁断・仮縫い組み立て 41・42 補正・実物組み立て 43・44 縫製 45・46 縫製 47・48 縫製 49・50 51・52 仕上げ・まとめ 53 上コレ後発表 レザー作品 54 製図・トワール組み・補正・縫代付きパターン作成 55・56 裁断・縫製 57・58 縫製 59・60 まとめ・発表・提出

【成績評価方法】

提出物評価 70% テスト 30%

【教科書・参考書】

上田安子『立体式洋裁』『縫い方全書』服飾手帖社 改訂版 オリジナルプリント、実物及び、部分縫い見本
『スカート』『ブラウス』『ワンピース』『パンツ』『ジャケット』『コート』上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシン等縫製機器、洋裁道具一式、各自サイズのボディ

科目名	パターンメイキングⅢ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	渡辺 杉子
【科目の到達目標】			
基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。規格サイズの理解。既製服のサイズ展開の基本知識を養う。 自由に企画・デザインするための形状の知識を培う。			
【科目の概要】			
基本パターンの製図からトワールチェックし工業用パターンを作成。各種デザインパターンへ理論的に展開トワールチェック後、パターン作成まで。基本のアイテムのサイズ展開の方法を習得する。 自由に企画・デザインするためのパターン展開のバリエーションを発想、検証する。			
【授業計画】 90分/コマ	前期		後期
1・2 3・4 5・6	●パターンメイキング概論 ●ブラウス	31・32 33・34 35・36	●オリジナルパンツ
7・8 9・10 11・12	●グレーディング	37・38 39・40 41・42 43・44	●ラグランスリーブのコート
13・14 15・16 17・18 19・20 21・22	●ジャケット(マニプレ)	45・46 47・48 49・50 51・52	●メンズ ジャケット
23・24 25・26 27・28	●子供服	53・54 55・56 57・58	●創作 ドレス
29・30	試験	59・60	試験
【成績評価方法】			
課題の評価60% 期末試験の評価30% 授業態度の評価10%			
【教科書・参考書】			
山路俊美 『メンズ製図集抜粋』 配布プリント			
【教材・教具】			
実寸製図用具・トワール・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等			

科目名	ドレーピングⅡ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	上田安子パターン担当
【科目の到達目標】 各種デザインのディテール、シルエットを表現するテクニックを習得。 服のフォルムに対しての感性を高める。			
【科目の概要】 ボディを使用しての立体裁断。 トワールを使用し立体によるデザイン表現を指導、 正確にパターンに落とし込めるよう指導。			
【授業計画】 90分/コマ			
前期		後期	
1・2	ドレーピング概論	31・32	創作作品
3・4	ドレープ襟のコート	33・34	↓
5・6	バックにフリルのあるスカート	35・36	ツイストドレープのブラウス
7・8	↓	37・38	↓
9・10	カウルネックの入ったブラウス	39・40	ペザントブラウス
11・12	↓	41・42	↓
13・14	ショルダー切り替え・テーラードカラー	43・44	ギブソン・ガール・ブラウス
15・16	1枚袖 ジャケット	45・46	↓
17・18	プリンセス切り替え・ショールカラー	47・48	ビスチェ
19・20	2枚袖 ジャケット	49・50	↓
21・22	ジャケット 3面体	51・52	ロングドレス
23・24	↓	53・54	↓
25・26	変わりテーラード ワンピース	55・56	創作ドレス
27・28	↓	57・58	↓
29・30	テスト	59・60	テスト
【成績評価方法】 立体においてのトワールの扱い・ピンの打ち方・デザインの表現力を 課題評価60% 試験評価 30% 授業研究態度10% 以上を指導要項の認定基準に基づき総合的に評価する			
【教科書・参考書】 オリジナルプリント 実物サンプル			
【教材・教具】 実寸製図用具・トワール(デザインに合わせて的確な厚さの物)・シルクピン・メジャー・筆記用具・裁断はさみ等			

科目名	ファッションデザイン論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	通年
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 40% 実習 60 %
時間数	60	作成者	藤原 博之

【科目の到達目標】

デザインを考える能力の向上と、デザインに対する感性を身につける。

【科目の概要】

デザイン・商品企画に必要な知識と技術を学び、オリジナルデザインを追求する。
自身が制作したオリジナル作品をポートフォリオに編集・プレゼンテーション等で充実を図る

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	デザイン論Ⅲ概要	16	商品企画・商品製作
2	デザイン発想	17	商品企画・商品製作
3	デザイン発想	18	商品企画・商品製作
4	デザイン発想	19	商品企画・商品製作
5	デザイン発想	20	商品企画・商品製作
6	外部コンテスト	21	商品企画・商品製作
7	外部コンテスト	22	商品企画・商品製作
8	外部コンテスト	23	商品企画・商品製作
9	デザイン発想	24	商品企画・商品製作
10	デザイン発想	25	商品企画・商品製作
11	デザイン発想	26	商品企画・商品製作
12	上田コレクションデザイン画	27	商品企画・商品製作
13	上田コレクションデザイン画	28	商品企画・商品製作
14	デザイン画選手権デザイン画	29	商品企画・商品製作
15	テスト	30	テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

高村是州『スタイリングブック』株式会社グラフィック社 2008年
Simon Seivewright『ファッションデザイン・リサーチ』株式会社ビー・エヌ・エヌ新社2011年□

【教材・教具】

パワーポイント、モニター、OHP、副教材(プリント配布)、PC 等
筆記用具、専用ノート、画材

科目名	コンピュータ演習Ⅲ-A	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	30	作成者	鶴 鉄雄
【科目の到達目標】 ポートフォリオ作成の体験を通して、実践的な「情報編集能力」の習得を目標とする。 情報編集の考え方と概念を理解し、「専門用語の記憶から、理解→応用→分析→評価→創造」へとステップアップを行う。			
【科目の概要】 本科目では「情報編集」の仕組みと考え方を活用して、印刷とWebで活用できるポートフォリオの作成を行う。 可視化の基礎となる「デザインの原則と編集手順」を修得して実際の作成を行う。作成にあたっては、 全体の仕上がりがイメージの方向決め、ドリルダウン分析のプロセスを体験に基づいて実践する。			
【授業計画】 90/コマ			
1	オリエンテーション		
2	ポートフォリオデザイン		
3	情報編集の考え方と概念		
4			
5	①デザインの原則と情報編集の基礎		
6	・イメージの方向決め		
7	・コンテンツのマインドマップ化		
8	・台割		
9	・サムネイル		
10	・ラフスケッチ		
11	・編集レイアウト内容		
12	②印刷データ仕上げ		
13	③Webポートフォリオ作成		
14			
15			
【成績評価方法】 提出物評価60% テスト30% 授業態度10% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する			
【教科書・参考書】 『Fashion Design: 3rd edition(Portfolio) 2011 Laurence King (ASIN : B00KS1QJ24)』, 『ファッション・デザイン・ハンドブック, ファッションMOTプロジェクト研究報告書, 2009』			
【教材・教具】 プリント or PDF配布 メモリフラッシュ メモ用筆記具			

科目名	コンピュータ演習Ⅲ-B	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間部
学年	3年	授業形態	講義20 % 実習80%
時間数	30	作成者	安田 圭織

【科目の到達目標】

現在のアパレル製品の製造に不可欠なCAD (Computer Aided Design)を使い各自がCADを理解し、ブラウス・ジャケットなどの工業用パターンを作成できる。各ソフトを利用し、仕様書・指示書をパターンに合わせ必要な内容を作成できる。

【科目の概要】

アパレルCAD (Computer Aided Design)とはコンピュータによる「パターン製作」などを行う機械、あるいはシステムのことを言い、時代に即した「アパレル生産」を極めるためには不可欠なものである。アパレルCADのソフトを理解し、パターンを引き、それに伴う仕様書などの書類を作成することを理解し、各自の発想の一つの手段として利用できるよう修得する。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|----|-----------------------------------|
| 1 | アパレルCAD概論ブラウス 縫製仕様書作成(ハンガーイラスト復習) |
| 2 | 〃 作図(表地、裏地) パターンチェック |
| 3 | 〃 情報入力、縫代付け、マーキング |
| 4 | 〃 縫製指示書作成 |
| 5 | ジャケット 縫製仕様書作成(ハンガーイラスト復習) |
| 6 | 〃 作図 パターンチェック |
| 7 | 〃 表地、裏地、芯地作成 工業用パターン作成 |
| 8 | 〃 情報入力、縫代付け |
| 9 | 〃 マーキング |
| 10 | 〃 |
| 11 | 〃 |
| 12 | 〃 |
| 13 | 〃 |
| 14 | ジャケット 縫製指示書作成 |
| 15 | まとめ |

【成績評価方法】

提出課題(的確さ、完成度)70% 授業への取り組み態度30%

【教科書・参考書】

配布プリント

コンピュータ演習 * アパレルCAD *

【教材・教具】

筆記用具

プリント or PDF配布 メモリフラッシュ メモ用筆記具

科目名	縫製工学	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	後期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 80% 小テスト 20%
時間数	30	作成者	相馬成男

【科目の到達目標】

アパレル製品の企画・設計、工業生産（縫製・プレス）、出荷に至る各工程では、デザイナー、マーチャンダイザー、パタンナー、縫製担当者、生産管理者、品質管理者など多くの専門技術者・技能者が携わっており、それぞれの業務の基礎知識と技術、もの作りに対する考え方が理解できる人材育成を目指し、社会へ出て自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れることができることを目標とする。

【科目の概要】

専門学校では注文服（オートクチュール）作りを主体に履修するが、社会へ出ると既製服（プレタポルテ）が主流であり、工業生産的もの作りの道理、実務工程の知識を習得し、自分を取り巻く関係者と円滑に意思疎通が図れる技術者を養成するため、アパレル業・縫製加工業の役割、繊維製品の品質に関わる法律、JIS衣料サイズ、表素材・副資材の品質管理、工業パターン設計方法、縫製加工、生産工程管理・品質管理と原価計算を修得する。

【授業計画】

90分/コマ

後期

- 第1週 ・縫製工学とは ・アパレル業と縫製加工業（Ⅰ）
- 第2週 ・アパレル業と縫製加工業（Ⅱ） ・衣服の品質に関わる法律（Ⅰ）
- 第3週 ・衣服の品質に関わる法律（Ⅱ）
- 第4週 ・JIS衣料サイズ
- 第5週 ・衣服の品質（Ⅰ）
- 第6週 ・衣服の品質（Ⅱ） ・原反検査（Ⅰ）
- 第7週 ・原反検査（Ⅱ）
- 第8週 ・副資材と付属品・・・芯地、接着芯地
- 第9週 ・副資材と付属品・・・裏地、縫い糸、ボタン、ファスナー、中入れ綿
- 第10週 ・工業用パターンと縫製仕様書 ・グレーディング
- 第11週 ・縫製準備工程
- 第12週 ・縫い目形式、工業用ミシン・縫合、工業用ミシン針
- 第13週 ・アイロン ・プレス
- 第14週 ・縫製工程の管理・・・生産システム、縫製工程表
- 第15週 ・縫製工程の管理・・・品質管理、原価計算

【成績評価方法】

- ・平常点（出席率、授業態度）・・・10%
- ・理解力（毎回の小テスト）・・・50%
- ・理解力（期末試験）・・・40%

【教科書・参考書】

- ・『縫製工学』齋藤景一郎著 2版 上田学園服飾手帖社2015年3月1日発行

【教材・教具】

- ・教科書（適宜配布資料）
- ・筆記具

科目名	西洋美術史	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 60% 演習 40 %
時間数	30	作成者	福田新之助

【科目の到達目標】

西洋美術史を学ぶことによって、国々の歴史・風土・民族・宗教や考え方を知り、日本との違いを把握できるようになる。そのうえで、ファッションビジネス界に対応出来る人としての基礎的教養の基盤形成を目標とする。

【科目の概要】

紀元前より1900年代まで、歴史の変遷と造形様式、代表的な作品や作家を通じて時代精神を読み取る。また宗教、気候、民族を踏まえながら、その作品の成立意義を知るように授業は進行する。最終的にはアーツ&クラフツ周辺のイギリスと、アールヌーボーや耽美主義に至り、メディアとしてのデザインを学ぶ。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 西洋美術史を学ぶにあたって
- 2 原始美術・メソポタミア・エジプト
- 3 クレタ・ギリシャ美術
- 4 ローマ帝国とビザンティン美術
- 5 中世美術とロマネスク
- 6 ゴシック美術と初期ルネサンス
- 7 北方美術と盛期ルネサンス美術
- 8 マニエリズムとバロック美術Ⅰ
- 9 バロック美術Ⅱとロココ美術
- 10 フランス革命と主義の時代へ
- 11 新古典主義・ロマン主義・写実主義
- 12 印象主義以降
- 13 世紀末芸術
- 14 アーツ アンド クラフツとアールヌーボー
- 15 テスト

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%
短文による理解度の評価

【教科書・参考書】

『西洋美術史』高階秀爾 美術出版社 2002年度版、各時代の関連プリントの配布

【教材・教具】

筆記用具、ノート、作文用紙

科目名	ファッションビジネス論Ⅲ	整理番号	
学科	ファッションクリエイター学科	期	前期
コース	オートクチュールコースオートクチュール専攻		昼間
学年	3年	授業形態	講義 50 % 実習 50%
時間数	30	作成者	新家章秀

【科目の到達目標】

将来アパレル業界での活躍を目指す方が、実務に即した**「ファッションビジネスの基礎知識」を習得し、それを活用して「人を動かせる提案力」**を身につけることを目的とします。・前期：ショップリサーチを通じて、業界の専門用語や売れる仕組みの基礎を学び、既存ブランドの業務改善案を構築します。・後期：前期の知識を土台に、マーケティングと経営的な視点（市場診断や差別化戦略）を取り入れ、新しいマーケットを発掘して新ブランドを企画・提案する力を養います。

【科目の概要】

講義を通じ、単なる知識の暗記ではなく、実際の店舗観察（ショップリサーチ）とデータ分析を繰り返します。前期はVMDやSKUといった現場視点の基礎を固め、後期はSWOT分析やポジショニングマップを用いた戦略視点でのビジネス構築を学びます。

【授業計画】

90分/コマ

- 1 業務フロー
- 2 ビジネス・マーケティング基礎
- 3 業種と業態（SPA・セレクト）
- 4 店舗の広さとSKU管理
- 5 マーケティング・ミックス（4P）
- 6 売れる店づくり：VMDの基本
- 7 レイアウトと導線設計
- 8 オムニチャネルとCX
- 9 顧客分析（RFM分析）
- 10 異業種事例①：瞬足・新政酒造
- 11 異業種事例②：DXランドリー
- 12 希少価値とキャリア設計
- 13 プレゼン構成術（前期）
- 14 前期プレゼンテーション
- 15 前期フィードバック

【成績評価方法】

提出物評価60% テスト30% 授業態度10%

4回の提出物とプレゼンの評価。加えて授業態度にて評価します。

【教科書・参考書】

1ヶ月以内に起きたファッションビジネスに関連する事例をもとに、それぞれのテーマで、まとめて配布します。『サンクス先生のファッションビジネスの授業（WEBテキスト）』『これだけは知ってほしいファッションビジネスの教科書（電子書籍）』など

【教材・教具】

プリントを配布。パソコン・Google クラスルーム、スライド。